

ケガを防ぐ9つの方法

エアブローに関するガイドライン



1. エアホースやエアブローガンを人に向けてブローしないこと。遊びはもちろん、衣服や身体についた汚れを飛ばす目的であっても禁止です。



2. 圧縮空気で清掃する際は、必ず保護具（例：ゴーグル）を着用すること。



3. OSHA要件を満たしたエアノズルを備えた安全設計のエアブローガンを使用すること。作業場周辺には保護スクリーンを設置するか、周囲に人がいないことを十分に確認してください。

4. エアホースに破損や漏れがないか定期的に点検すること。漏れがあるホースは直ちに取り外してください。加圧状態で破損すると、ホースが暴れて制御不能になり、危険です。

5. ホースを空圧機器から取り外す前に、必ず圧縮空気を遮断すること。最寄りのシャットオフバルブで空気供給を止め、機器内の残留空気を排出してください。



6. コネクターやホースクランプが確実に固定されているか確認すること。締め付けにはドライバーではなく、レンチまたは手を使用してください。再度圧縮空気を供給する際は、ホースとエアブローガンをしっかり保持してください。



7. ホースを折り曲げて空気の流れを止めないこと。必ずシャットオフバルブを使用してください。バルブを開く際は、接続不良がないか慎重に確認しながら操作してください。

8. エアホースを床に放置しないこと。誰かがつまずく恐れや、車両・扉・工具などで損傷する恐れがあります。可能であれば、エアラインやホースは天井付近に配管してください。



9. 圧縮空気および関連機器は、常に専門ツールとして扱うことを忘れないでください。適切かつ安全に取り扱うことで、作業効率を大きく向上させることができます。